

# ヒゴシオン

学名 *Aster maackii* Regel

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

生育する湿地は希で、個体数も少ない。湿地が開発されたり、森林化したりして生育状態が悪化し、さらには人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	九州(熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), アムール, ウスリー
生育環境	丘陵地から低山地の湿地。
現 状	いずれの湿地も個体数が少なく、土地開発で消滅したり、植生遷移の進行により、生育状態が悪化している所がある。
備 考	大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。